

働き続けられる職場を 金融労連「2017年女性のつどい」

10月7～8日、滋賀県近江八幡市「男女共同参画センター」において、「金融労連2017年女性のつどい」が開かれ、全国から18人（内男性2人）が参加しました。

はじめに金融労連・佐藤中央執行副委員長が主催者を代表し挨拶、続いて滋賀銀行従組の委員長でもある金融労連・中島委員長が地元歓迎の挨拶を行いました。

引き続き講演は、名古屋の南部法律事務所労働弁護士として活躍される田巻紘子弁護士をお招きして行いました。

憲法から国際情勢、身近な教育問題まで、ママとしても活躍される先生の分かりやすい話に、参加者は聞き入っていました。

講演会の後は、2班で分散会を行い、「金融機関の規模で職場環境が大きく違い驚いた」「若い人が働き続けられる職場をつくるため、職場の状況・思いを聞ける」「組合活動のありがたさを改めて感じた」「各地のおみやげ（お菓子）を食べながら良い雰囲気話し合えた」と、幅広い世代の金融労働者が話し合える数少ない場で、討議を行いました。

夜はバスをチャーターして、温泉の入る旅館へ移動。クイズ大会を開き（賞品あり）、地の食べ物を美味しく頂きながら交流会を楽しみました。

2日目、分散会の続きと、全体会では各分散会の報告があり、最後に閉会の挨拶で終了しました。

仕方がないで終わらせない 2017年女性のつどい 参加者感想文から

講演について

○普段、憲法のことを意識することはなかなかないのですが、改めていろいろ考える機会になりました。そして変えてはいけないと強く思いました。

○誰もが尊重されることの大切さ「〇〇だから仕方がない」という言い訳、99%を切り捨てる「格差」の拡大、くらしにかかわることの法、普段聞けない話を聞かせてもらい勉強になりました。

○私たち目線で分かりやすかったです。もっと自分に事前の知識があれば、より理解を得られた。「だれの子供も殺させない」について考えさせられました。今は自分に子供はいませんが、今後できた時、今の政治では自分の子、自分たちの未来は感じられないと思いました。「〇〇だから仕方がない」忙しい日々の中、仕事中、この言葉で流して（割り切って）仕事をしている部分があり、そこを見つめ直さないといけないと思いました。

○講演はわかりやすく、女性、教育問題など良かった。「仕方がない」で終わらせてはいけない、ゆるさないという思いを強く持つことが大事だと再確認しました。

分散会について

○みなさん楽しいお話の分散会でした。女性のつどいはこんな風にみんなで楽しくお話できる場でいいと思います。

○260名程度のごく小さな信用金庫ではわからない、メガバンクのお話はいつも楽しいです。そして自分のところは平和だなあと思います。

○分散会は色々な話が出て、組合によって違っていてびっくりする話も聞かせてもらいました。

○組合活動のありがたさをあらためて感じ、もう一度組合について考えてみたいと思った2日間です。定年退職してからの仕事の仕方についても、先輩方の話に勇気をもらいました。

○若い人が働きやすい職場、働き続けたいと思えるような職場社会にするためにも、色々な職場の状況・思いを聞ける女性のつどいは良い機会だと思います。もう少し人数が多いといいですね。

○分散会ではいろいろな職場の生の声が聞いて良かったです。女性の役席への登用など取り組む銀行が多いなか、実際には家事などの負担が増えてやめざるをえない等、女性が働きつづける環境が整ってはいないです。また残業など労働強化も続いています。

交流会について

○移動するの？と思ったのですが、行きは街並みを見ながら良かったし、食事もおいしくいただきました。

○バスで移動して休暇村での交流会は、駅周辺の店の状況を考えると妥当であったと思います。また、温泉に入浴できるという特典もあり（私が参加するようになって初めて）、温泉好きの私としては最高でした。バスの中のクイズも楽しかったです（ゲームを楽しみにしていましたが）。

○バスでの移動は車窓観光のようで楽しかったです。会場は他のお客様のいない空間だったので、話しやすく、食事もすごいボリュームで美味しかったです。

今後の希望・意見

○ご当地のお菓子を持ち寄り、茶話会の感覚で参加できるところが良いです。「会議」「発言しなければならない」という緊張感がなく出席できます。これからも続けてほしいです。

○何十年ぶりに組合の行事に参加して、女性のがんばりやこれからの未来とか、色々考えさせられるものでした。ありがとうございました。